

課・係	目標	内容
総務課	①定員管理計画の実践…新規採用8名 ②消防計画の策定…組織統合計画の策定 ③職員研修計画の実践…研修受講と伝達研修会の実施、市長部局研修への積極的参加	①実施中採用試験(上級・二次募集)の完了/定員管理計画変更の検討(10月)/職員採用試験の細分化と複数回の実施(1月) ②課署長会議・幹部会議・6作業部会等での検討協議(各2回以上)/先進地例等の資料収集と分析 ③実施中計画の継続(～3月)/職員の希望調査(9～10月)/次年度計画策定(1～2月)
総務課	①危機管理室の業務統合…相互併任発令 ②危機管理室・消防団の連携…消防団評議員会議・訓練大会での指導・助言 ③各分署と地域局の連携…消防団幹部会議・訓練での分署の指導・助言	①執務プースの統合(5月末)/危機管理室と消防本部総務課・警防課の業務統合 ②災害対応・消防団事務・消防水利整備・各種消防防災計画策定・訓練大会・防災訓練 ③地域局防災担当と分署の業務統合方法の検討
予防課	住宅用火災警報器の全戸設置…70%を目標(全国の各市町村普及率同等)	・現状把握(～5月、1,000戸無作為) ・市防災担当・消防団・火災予防組合等と連携し、火災予防運動・各種訓練(自衛消防訓練・救命講習会)を実施 ・市報・横手かまくらFMで設置義務の周知、普及を推進する。 ・火災予防組合等に呼びかけ共同購入の推進 ・レシート広報の継続
警防課	防火対象物における自衛消防訓練の実施…甲種、乙種802防火対象物の実施率50%	・防火管理者不在施設解消のため講習会受講の促進 ・立入検査で消防訓練実施を指導 ・個人経営の飲食店(80施設)は、訓練通知書の簡素化し実施促進 ・災害弱者収容施設(100施設)は現状の実施率(97%)を維持 ・訓練未実施の市公共施設情報の公開と実施指導
通信指令課	119番入電から出動指令までの時間短縮…携帯入電から出場指令までの所要時間2分以内の割合92%を目標	・週1回以上、様々な事案を想定した訓練を実施し通信指令員のスキルアップを図る ・地理、地名、目標物等の把握に努める…目標物データの更新(随時)/地図データの更新(11月) ・各種講習会(秋の火災予防期間中2回)、ホームページ、市報(11月)、FMコミュニティ放送(10～11月)により適正な通報を広報する。
通信指令課	①消防救急無線デジタル化移行に向けた整備…消防救急無線の基地局設定場所の選定 ②湯沢雄勝広域との事業共同化の検討…関係4市町村との協議における共同化の	①基本設計業務委託業者との打合せ会議を行う(6月)/机上シミュレーション結果を以って東北総合通信局とのデジタル無線に係る協議(9月)/電波伝搬の調査(9月)/置局を決定し、東北総合通信局のヒアリング(10月)/デジタル無線システム設計を作成(1月) ②湯沢雄勝広域消防本部と基地局等の共同整備、共同利用について協議(5月)/基地局等の共同整備、共同利用化の可否について協議(10月末)
救急課	①迅速・確実な出場体制の確保 ②適正な救命処置の実施	①出場から医療機関までの平均的所要時間の短縮…所要時間29分以内を目標 ②病院実習の継続…21名 ③各種勉強会・研修会の開催・参加…症例検討会開催4回・メディカルコントロール協議会開催2回 ④応急手当講習会の実施…110回実施、延べ人数2200人 ⑤救急隊員習熟訓練の実施…習熟訓練、各署々延べ500回実施 ⑥救急救命士の養成…救急救命士の病院実習(240時間、2名)
消防署	緊急出動及び出向時の無事故	・朝のミーティング時にヒヤリハット1人1分スピーチ ・朝・夕の車両点検は、チェックシートで確認 ・車両運行時は、確認呼称を励行し、機関員と隊員が一体となれるよう平素から車両誘導の習熟に努める